



令和7年度 学校だより

とりやっ子

No.12 両面印刷

中能登町立鳥屋小学校

令和8年1月15日

文責 校長 干場 和代



【学校教育目標】ふるさとを愛し、仲間と共に、未来を切り拓く児童の育成
～自ら考え、仲間と共に関わり合い高め合う、とりやっ子～

◆◆2026 午年が軽快にスタート◆◆

2026年、新しい年となりました。今年もよろしくお願ひいたします。

学校は8日が3学期のスタートでした。子どもたちは元気な様子で登校し、玄関前にいる私に冬休みの楽しかったことを教えてくれました。「温泉にいってきたよ。」



「お年玉をたくさんもらったよ。」「いとこと遊んだよ。」・・・などの話から家族でゆっくりと年末年始を過ごされた様子がわかりました。

始業式では、「1年の計は元旦にあり」から、①がんばりたい目標を決めて、②具体的に何をするかを考え、③実際にやってほしいという3ステップを伝えました。

学校に来る日数は1～5年生が50日、6年生は47日です。2学期に比べると20日以上も少なく、あっという間に終わってしまいます。1日1日を大事に過ごし、自分の立てた目標が達成できるようにがんばってほしいと思います。

1年の計は
元旦にあり



①目標 (ゴール)

②そのために

③じっさいにやる

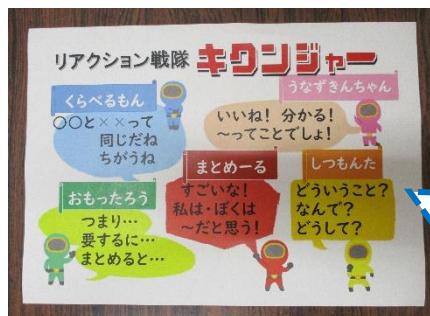
2026
とりやっ子
みんなで成長



始業式の様子です。体育館は極寒なので、リモートでの始業式にしました。

どの学級もモニター画面をしっかりと見て、話を聞いてくれました。よい姿勢からは、3学期への意気込みが感じられます！

◆◆◆学習でがんばっていくこと◆◆◆



3学期は『友だちの話を聞いてリアクションすること』を求めていきます。友達と考えを交流することはとても上手になった一方で、友達の考えを自分の考えに取り入れたり、わからなかったところを教えてもらったりといった目的をもって聞くことが課題でした。リアクション戦隊「キクンジャー」のように、友達に聞くことで自分の考えがさらに一段深まるよう、働きかけていきます。

◆◆◆書き初め大会～一筆一筆に気持ちをのせて～◆◆◆

書き初め大会を行いました。静かに文字を書くことに集中しながら、心新たに気持ちで1年がスタートできる、そんな日本のよき伝統行事を子供たちも体験しました。どの教室でも緊張感をもち、真剣に取り組む姿が見られました。入賞児童を紹介します。

学級	入賞児童
1年1組	池島 佑美、延命 撫子、久保 花、清水 優月、日光 あかり、三浦 優希奈、村井 那南
2年1組	横山 美優、道本 桔衣乃、石過 蒼和、多江 杏菜、池田 政比古
2年2組	嵐川 晃多、上見 莉央、甲 晴登、田中 創、横山 鈴里
3年1組	池田 瑠璃、石過 美樹、亀井 伶奈、杉本 美和、森山 将吾
3年2組	永村 光、清水 美羽、高沢 理人、千場 実悠、水谷 祐心
4年1組	荒井 悠利、奥井 理久、甲 杏莉、濱田 藍凪、細川 琴加、山口ひまり、山内 色風
5年1組	出雲 紗咲、亀井 茜里、高田 愛莉、豊藏 郁乃
5年2組	池田 紗南、岩尾 冬月、胡摩 いろは、本殿 花那
6年1組	石過 結奈、山崎 秀真、杉本 紗都、山口 瑠菜、西村 梨来
6年2組	関谷 章馬、谷口 花怜、林 成美、本殿 紗奈子、水谷 郁仁



◆竹俣先生（スクールカウンセラー）による心の学習◆

3学期がスタートし、久しぶりに友達としゃべったり遊んだりと楽しい休み時間の様子が見られました。

しかし、表面上は和やかに見えても実はこんなことはありませんか？

- ・本人が気づいていないけど、高圧的な態度をとっている
- ・ブランコなど代わってくれないことにイライラしている
- ・自分さえ我慢すればよいと普段から思っている
- ・本当は言いたいことがあるのに、言えず我慢している など



このようなどちらかが我慢している状況では、友達とのかかわりも心から楽しめませんね。

そこで「自分も相手も大切にする」といったアサーションの対応の仕方を竹俣先生に教えていただいている。自分も我慢しないし、相手も傷つけない、そんな方法を考えます。もちろん、学校は多くの子供たちがいますので、一人一人考えが違ってトラブルになることもあります。トラブルから学び、成長することができるのも学校の大きな役割の一つです。でも、何があったときにこのアサーションを知っていると、自分たちで解決できることが増えます。「言わないと伝わらないからちゃんと言う。その時は相手を傷つけない言い方をする。」大事なことですね。（全学級で行います。）